

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和三年十二月十三日発行 (毎月一回十三日発行)

定価 五〇〇円

第963号

高 知 道 會
龍 跳 書 知 高

春季昇段・級試験課題発表

第七十八卷

1

月号

蘭亭叙

東晉

王羲之

永和九年歲在癸卯暮春之初會于會稽山陰之蘭亭脩禊事也。羣賢畢至少長咸集此地崇山峻嶺茂林脩竹又有清流激湍映帶左右引以為流觴曲水。雖無絲竹管弦之盛亦有惠風和暢之氣也。仰觀宇宙之大俯察品類之盛足以極視聽所接無窮。向之所欣俯仰之間已為陳迹向之所欣俯仰之間已為陳迹豈不快然自足一死生為虛無齊彭殤爲長物豈不悲哉。故列敘於斯文亦足以暢叙幽情。

永和九年歲在癸卯暮春之初會于會稽山陰之蘭亭脩禊事也。羣賢畢至少長咸集此地崇山峻嶺茂林脩竹又有清流激湍映帶左右引以為流觴曲水。雖無絲竹管弦之盛亦有惠風和暢之氣也。仰觀宇宙之大俯察品類之盛足以極視聽所接無窮。向之所欣俯仰之間已為陳迹向之所欣俯仰之間已為陳迹豈不快然自足一死生為虛無齊彭殤爲長物豈不悲哉。故列敘於斯文亦足以暢叙幽情。

町田碧峰書



鳥声來和独吟

蘭亭叙

東晋

王羲之

王羲之の蘭亭叙の真筆は唐の手にありました。太宗の崩御に際し陵墓に入れられて真の姿がわからなくなりました。

次々と複製がくりかえされ真筆がわからなくなつたと云われています。この蘭亭叙に見る羲之の書はまことに秀麗で、自然な筆使いや強さはとても有名です。

福原曉雲臨

謹言離洛之後未承動靜恐鬱之甚異於在都

山高水長萬壑涼生竹閣風
此畫一束多於在都

深瀨綠堂書

千山夜靜香林月萬壑涼生竹閣風

千山夜靜香林月萬壑涼生竹閣風
此畫一束多於在都



梅
川
桂
龍
書

天 涯 若
比 鄰 義

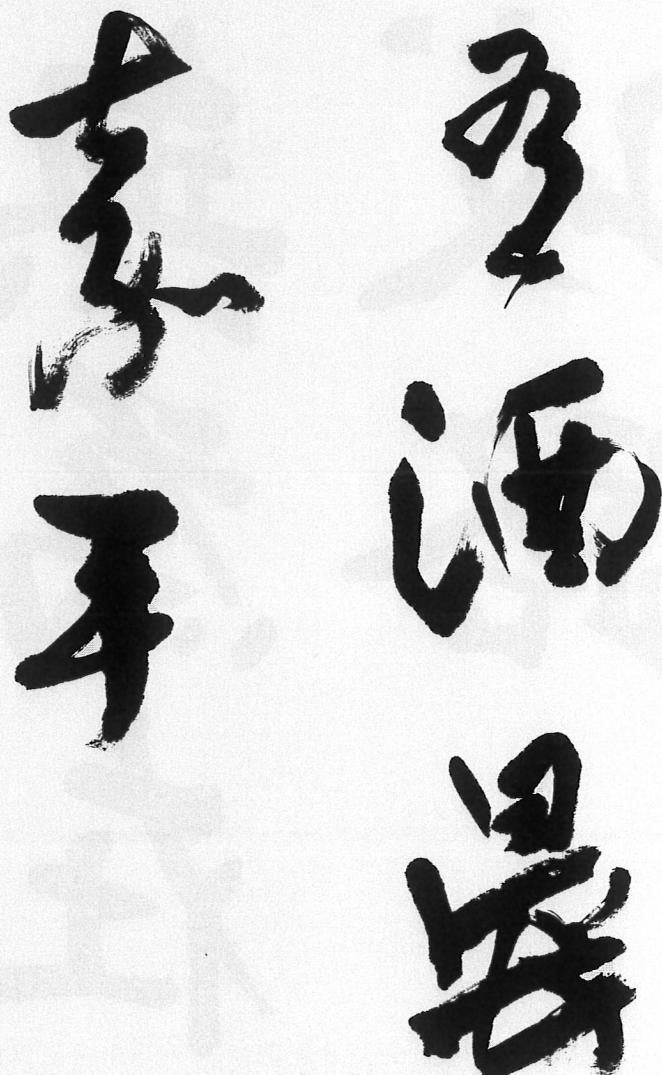
天涯てんがい
比鄰ひりんのごと
若わ

梅
川
桂
龍
書

岐 無 為 在
路 無 為 在
路 無 為 在

岐 路 に 在 り て 為 す 無 け ん

福 原 曉 雲 書



酒有り嘉平に晏す
さけあ かへい あんす

出間桂堂臨

蘭亭叙 東晉 王羲之

永和九年歲



蘇東坡詩句

清江先生集

弘田賀峰書

蘇東坡詩句

大原桂園臨

大之則孫於宇宙細
之則攝於毫釐

大平圭子臨

壬申從父銀青光祿
夫使持節蒲州
圭子

像顯可徵雖愚不惑
形潛莫覩在智

洋女 洋女

銘之玄石以揚非世
之美而作頌曰

邦心 邦心

却附丹楊粉用國美

真傳清意

里華 里華

出王家錢給大酒直
須報謹問大堂

和子 和子

徧矣度其先難重
事也孤沫泊漢丘

極山 極山

西山極山

田村和子

岩河里華

岡林邦心

大八木洋女

君生如樞而支革消
生如華得日更榮

百合 百合

東生呈英、委也因之
而一夕而熑

邦心 邦心

指九結固覺夢八調
溢極窮二慧撓

里華 里華

村之三用儀形之極
多八音之造白感

和子 和子

先後善名多陰故
舊歷代孤孤北

極山 極山

大崎紫陽

西村由香

佐竹江月

大石千施

山川百合

条幅当選作品 梅 川 桂 龍 選評

★天位

大八木洋女君||少し墨量が欲しいが、筆は紙背に徹し佳。

岡林邦心君||ゆつたりとした線で落ち着きあり。

岩河里華君||顔法よく捉え堂々としている。

田村和子君||乙瑛碑の臨、大らかな時の流れを感じる。

西山極山君||気負いなく素直な臨、少し硬さがある。

★地位

山川百合君||手馴れた筆致でさわやかな作。

大石千施君||軽快な運筆で風信帖を臨し、快調の作。

★人位

佐竹江月君||運筆一様、やや変化があつても良いのでは。
西村由香君||手馴れた臨書、墨量も適度でまとまりよし。
大崎紫陽君||大胆な筆致佳。これからも頑張って下さい。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷次回審査会◁

12月の審査は26日(日曜)午後1時に開始します。

場 所 高知城ホール

☆新年試筆作品締切りも当日です。出品料は5,000円です。

幸
福
人
類
の

中學一年課題　廣末幽念　書

休冬

暇期

文化交流

小学五年課題 隅田亘心書

の初

山日

のう
花ぬ

小学三年課題 大原桂園書

き
け
ど

ん

つこだい

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

まよす

学校名	ドームは、未来の世界で核兵器を二度と使つてはいけない、いや、核兵器はむしろ不必要だと、世界の人々に警告する。
年段	六 年
級段	
氏名	

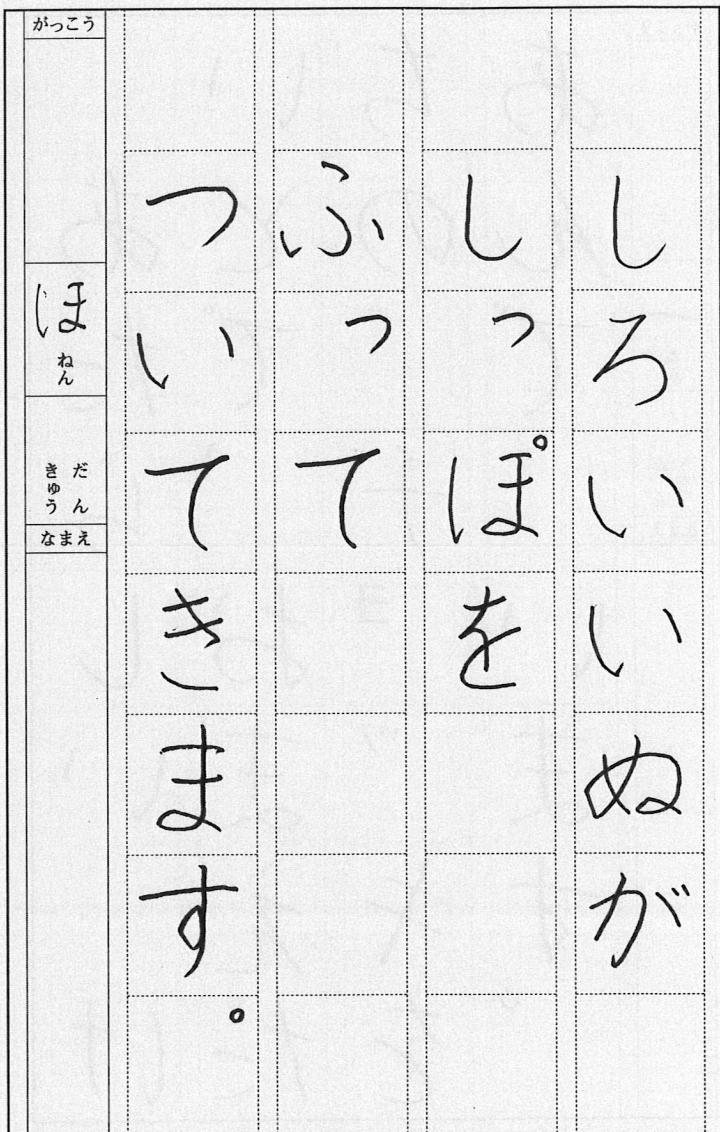
学校名	伝記は、実在の人物の人生
五年	をえがいた読み物で、ふつう、
級段	特徴的ないくつかの出来事を
氏名	取り上げて、時間を追つて書かれている。自分の生き方と 関わらせながら読もう。

学校名	公園は、何も植えられていなかだんで囲まれていて、古い大きくな。
四年	タナスの木が一本だけ生えているので、プラタナ
級段	ス公園とよばれている。
氏名	

学校名	練習をします。	の一年かかります。	半年から	訓練は、約三ヶ月から
年	しょに生活し、町を歩く	うどう犬を使う人といつ	の一年か月は、実さいにも	の一年か月は、実さいにも
級段	年に生活し、町を歩く	うどう犬を使う人といつ	うどう犬を使う人といつ	うどう犬を使う人といつ
氏名				

がっこう	て	の	で	ある
二 ねん	あそ	とこ	す。	る日
き だ ゅう ん	ぼう	ろに	さぎ	の朝
なまえ	よ。	やつ	ぎの	のこと
	しよ	つ	み	
	に野	て	ミ	
	原	来		

がっこう	あん	ちの	い	あ
一 ねん	で		と	た
きゅう うん		チ	、	ら
なまえ		ヨ	、	し
	い	ツ	お	ま
	ま		ま	え
	す	キ	た	た
	。	を	け	け



春季昇段級試験作品募集

△師範の部

(受験資格・本会準師範位に限る)

○課題

野寺 分晴樹
春深無客到
山亭過晚霞
一路落松花

(山行 施閻章)

野寺晴樹分ち、山亭晩霞過ぐ。春深くして客の到る無く、一路松花落つ。

野寺に木々が日にくつきりと映え、山亭には夕暮れのもやがただよう。このあたり、春色

深くたずねる人もなく、歩行けば松花が静かに落ちるのみである。松花は松黄ともいう。

右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の三枚と一ページ王羲之

蘭亭叙より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。

作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓名を明記すること。

当選者は本会師範に推举する。

▽第一部

(受験資格 一般部段位、級位の者)

○課題

林邊鳥語月微下、竹裏花飛春又深

林のあたりに鳥ないて月はやや斜めに、竹林に花散つて春は一段と深い。

- 右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ王羲之 蘭亭叙より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓名を明記すること。
- 当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部

(受験資格 一般部級位の者)

○課題

春風煦育
春風がそよ吹き万物はのびそだつ。煦は温たむ。

○上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

○作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。

○作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現段級と氏名を明記すること。

○当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円
(作品と同時に納入してください)

△学生・学童の部

(毛筆部)
課題字句「龍跳」一月号掲載(一月二十日締切)の課題字句とします。

△硬筆作品

課題字句「龍跳」一月号掲載(一月二十日締切)の課題字句とします。
規格は半紙。一人一点とします。

△作品の締切

令和四年三月三日(木)必着のこと。
令和四年三月六日(日)午前九時三十分より

△審査日時

高知城ホール
元七八三一〇〇八一 南国市片山西四九〇 西山極山



(一・二段目)

出間桂堂

選評

邦心君 || 線質深く余裕あり。
恵花君 || 線が強く迫力あり。美仁君 || 粘り強く筆圧もよく利いて
いる。花梢君 || 躍動感一ぱい勢いがある。
やや多墨。旭峰君 || 肩の力を抜いて楽に書いて
下さい。智子君 || いつも丁寧で素朴、品格も
感じる。(二・三段目) 岡崎緑水 選評
美賀君 || 重厚な線で一紙を纏めた。玉水君 || 線に丸みがあり落ち着きの
ある作。竹山君 || 基本点画がしつかりして、
安定感のある作。司郎君 || 達者な運筆で動きを感じる。
恵泉君 || 線が伸びて統一感のある作。(三・四段目) 野島桂山 選評
淳君 || 筆力あり。形も整い大変よ
い。美知君 || 力みなく伸びやかな作。
千晶君 || 温和な線質で明るい。隆光君 || 重厚な線で見応えあり。
絵君 || 堂々としていて立派。

愛菜君 || やさしく眞面目な作。

(四段目) 武内美仁 選評
慶子君 || 字々明るく、温厚な作。
清辰君 || 線がきびしく、安定感ある
作。

花穂君 || 力強く、大らかな作。

玄石以
揚非世
邦心君

百尋下
臨則
桂園君

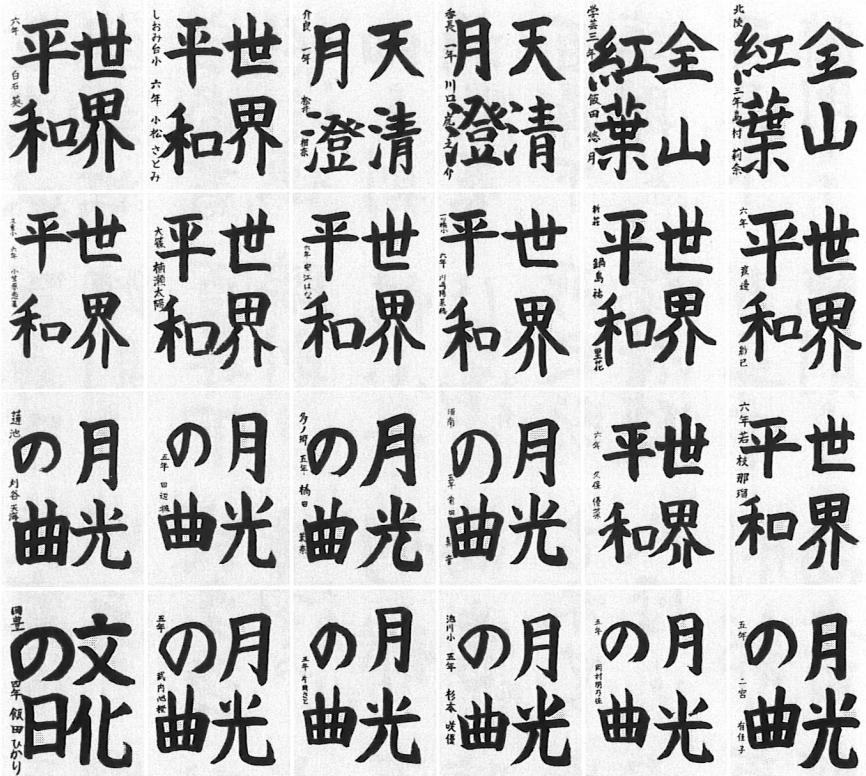
天寔角
熙和
桂旭君

百尋下
刑部
桂園君

百尋下
刑部
桂園君

(一・二段目) 邦心君 || 線質に「スッキリ」と若さ
あり、これを老練な線に変えていきたい。
紅子君 || 争座位の抑揚を良く出して
桂園君 || 品良く丁寧に書して明るい
桂旭君 || 九成宮臨、引き締つた文字
で大佳。只落款も大に過ぎ
調整を。
旭峰君 || この方も筆先をうまく使つ
ていて。配置も良い。
桂旭君 || この臨横画起筆は太くな
らぬ様、収筆を徐々に太く。
清園君 || 落款印を押して下さい。
喜子君 || 少し硬さが目立つ。
美賀君 || 整正にしてよく安定してい
ます。
(二・三段目) 前田秀華選評
喜子君 || 少し硬さが目立つ。
司郎君 || 線丸くゆつたりとした作。
竹山君 || 線丸くゆつたりとした作。
落款は調和を欠く。(少し
大きすぎ)

(三・四段目) 紗子君 || 線の流暢な動きと、堂々と
した運筆。
塙地桂峰選評
英子君 || 筆の動き良くまとまつた作。
淳君 || 力強く堂々とした作。
千晶君 || 線流れ良く大らかな作。
知勢子君 || 筆力あり堂々とした作。
由紀君 || 良くまとめ、真面目な作。
啓子君 || 大らかで筆の動きも良い。
(四段目) 佐々木港花選評
慶子君 || 線強く形も整っています。
明美君 || 手の力が抜け伸び／＼書い
花穂君 || 形も整い。真面目さが伝わ
てきます。



(一段目) 中学部 岡林邦心 選評
莉奈君||線がきびしくて大らかで良い。
悠月君||良くまとめているが、「山」の一画目の起筆に
虎之介君||字々しつかりして良い。
柑奈君||線よくのび明るい作。

(一・二・三段目) 小学六年 西山極山 選評

さとみ君||名前と共によくまとっている。

葵君||力強い作品。この調子でがんばつて。

祐里花君||よくまとっている。「世」のたて線に注意。

陽菜穂君||ていねいに書けています。

はな君||明るい作品。じつとみていてほしい。

太陽君||力強い作品。「世」のたて線に注意。

恋菜君||文字のとめ、はねよくできている。

那瑠君||落ちついた作品。

優菜君||この調子でがんばれ。がんばれ。

(三・四段目) 小学五年 大八木洋女 選評

真音君||この調子でがんばつてください。

茉奈君||力強いです。がんばれ。

楓君||しつかりした線が出ています。

天海君||真面目さが出てています。

有佳子君||元気に書いています。

朋乃佳君||よくまとまっています。

咲優君||ていねいに書いています。

さと君||しつかり書いています。

心桜君||まとまっていますが、少し長いでしょうか。

(四段目) 小学四年 深瀬綠堂 選評

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

蓮池

四年

川合天香

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

武内恵理

四年

飯田ひかり

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

武内恵理

四年

飯田ひかり

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界

白石英

六年

小松さとみ

六年

大庭大輔

六年

川口陽

四年

大庭大輔

四年

川口陽

世界和平

世界和平

月光の曲

文化的世界



(一・二段目) 小学四年

千春君||明るくよくまとまっています。
ひなこ君||まじめに努力されています。

ふき君||元気な字でのびやかです。
維那君||強い線で体がよく動いています。

乙羽君||よく整っていますが、もう少し元気よく。
杏君||大らかで明るくまとまっています。

絢女君||堂々とさわやかに書けました。
(二・三段目) 小学三年

陽菜君||力強いで。
輝翔君||のびやかでしつかりしています。

風佳君||ていねいに書けています。
かな子君||堂々としています。

いつき君||元気に書けました。
あい君||落ちついて明るいです。

(三・四段目) 小学二年
リサ君||はじめに書けています。
なの君||やさしく書けています。

百叶君||力強く書いています。
改太君||形良く書けています。この調子で頑張つて下さ

悠成君||のびやかに書けています。
はるね君||ていねいに書けています。がんばつて下さ

い。
(四段目) 小学一年・ようち・ほいく
実咲君||形よく書けています。
かづき君||形よく書けています。
あさひ君||ゆつたりとじょうずに書けています。
まとい君||のびのびと書けています。
たいき君||元気よくじょうずに書けましたね。

佐竹江月 選評
岡本空仁 選評

硬筆優秀作品

越知 馬路
若枝 久保
那瑠 優菜

須崎 谷
松本 紗亜
愛莉

久礼 戸波
中平 戸田
千友 彩希

一ツ橋 新莊
鍋島 健琉

夜須
しお見台 小松さとみ 葵

久重 須南 前田 真音 小笠原恋菜

一ツ橋 岡村朋乃佳 浦ノ内 中田 莉子

越知 米澤知那 知晟

苦しい農作業の中に、楽しさを見つける。工夫することに喜びを見つける。そうして未来に希望をもつ。それが農学校の先生としての宮沢賢治の理想だった。	苦しい農作業の中に、楽しさを見つける。工夫することに喜びを見つける。そうして未来に希望をもつ。それが農学校の先生としての宮沢賢治の理想だった。
疾痕 六・七 若枝 那瑠	疾痕 六・七 白石 葵

五兵衛は、自分の家の庭から、心配げに下の村を見下ろした。村では、豊年を祝う宵祭りのしたくに心を取られてさっきの地震にはいってこう気がつかないもののようにある。	五兵衛は、自分の家の庭から、心配げに下の村を見下ろした。村では、豊年を祝う宵祭りのしたくに心を取られてさっきの地震にはいってこう気がつかないもののようにある。
須崎 五・九 谷 愛莉	須崎 五・九 小笠原恋菜

テレビでサッカーの試合を放送しています。今はハーフタイム。両チームの選手たちは、コート全体に広がって、体を動かしています。	テレビでサッカーの試合を放送しています。今はハーフタイム。両チームの選手たちは、コート全体に広がって、体を動かしています。
戸波 四・五 戸田 彩希	戸波 四・五 中平 千友

テレビでサッカーの試合を放送しています。今はハーフタイム。両チームの選手たちは、コート全体に広がって、体を動かしています。	テレビでサッカーの試合を放送しています。今はハーフタイム。両チームの選手たちは、コート全体に広がって、体を動かしています。
新莊 三・六 鍋島 緑	新莊 三・六 奥田 健琉

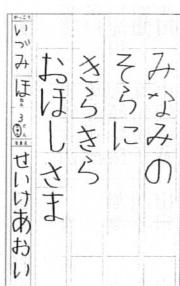
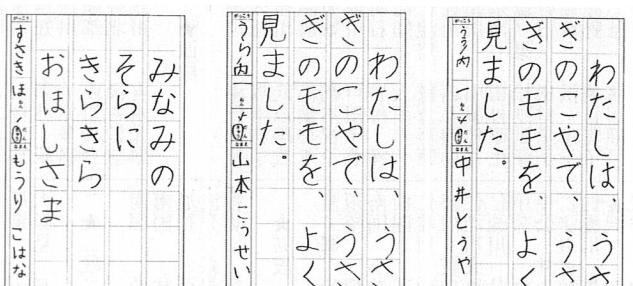
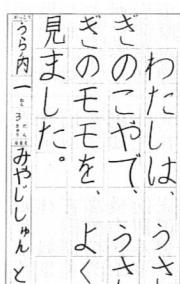
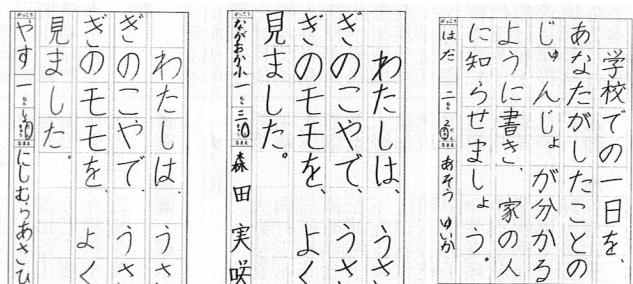
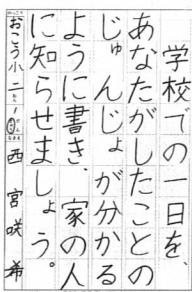
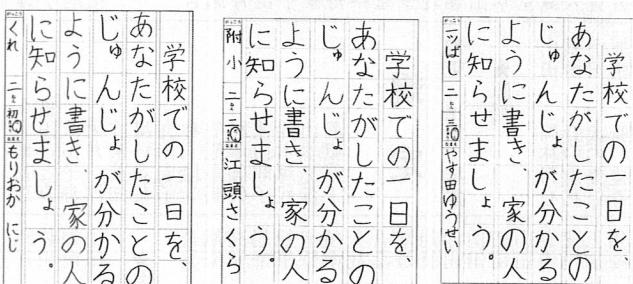
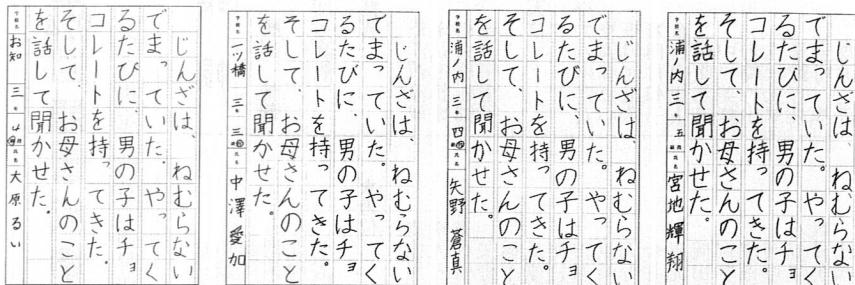
硬筆優秀作品

浦ノ内 宮地 輝翔
浦ノ内 宮地 輝翔

一つばし やす田ゆうせい
江頭 さくら

はだ ながおか あそうゆい
森田 実咲

うらノ内 中井 とうや
山本こうせい



お知
一つ橋
中原
るい加

おこう
西宮
咲希

うらノ内
みやじしゅんと

いづみ
せいけ
こはな

第924回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

(※印写真版)

★天位

★推薦

※※※岡林邦心
※岩河里華
※田村和子
※西山極山
中平吹道
岩崎峰美
竹山峰峰
吉永翠光
津野惠翠
岩村泉祥
亀井司郎
森喜代子
西谷嘉喜
令泉利谷

※※※大石千石施
矢野峰臣 橋本祝子 氏原美泉 河村容舟
市原處卿 浜崎洋堂 天野喜嘉 今井理
森光望春 岡田雄山 小笠原弘人 藤原秋芳
森譯美佑貴 森澤志子 高橋櫻芳 佐野峰臣
濱田貴志子 山崎隆志

庄田秋桜
中城康華
坂本碧香
門田恵子
岩谷紅花
北村桂旭

須久旭山須山
崎礼筆田南田
野中原武岡
島平内林邦
桂峰桂美仁惠
山春花心

規定

武政幽雅
西村由香
大崎紫陽
山脇佳月
田村昭生
八保地初恵
横田ひとみ
濱田千舟
大井淳
吉永美知
鎌倉春葉
丸田宏子
林隆光
笠原多嘉
杉本美代
鈴木輝代
濱田順子
山本恵歩
品原律子

★人位

別役美佐

佐久須上窪 豊山山山池旭 旭吾久須旭旭高旭吾
川礼崎加川中田田川筆筆桑礼南筆筆知筆桑

須崎洋子

山崎裕智子 桑原桂一 北村峰也 大崎洋介
花澤克也 旭峰利行 岩田信也 島崎和也
別役美佐 天野喜泉 氏原美泉 原田洋一
山中紅風 中西清園 田中真理子 田中和也
平井桂草 森令貴子 田中千鶴子 田中千鶴子
片岡政徳 田中千鶴子 田中千鶴子 田中千鶴子
岡本空仁 田中千鶴子 田中千鶴子 田中千鶴子
佐竹江月 佐竹江月 佐竹江月 佐竹江月
逸見翠雲 佐竹江月 佐竹江月 佐竹江月
尾崎勢葉 佐竹江月 佐竹江月 佐竹江月
山本恵歩 佐竹江月 佐竹江月 佐竹江月
田中恵風 佐竹江月 佐竹江月 佐竹江月
矢野峰臣 佐竹江月 佐竹江月 佐竹江月

大塚地桂峰翠
江西澄翠
水深瀨岡弘西岩河村容華園女
田本庭桂桂極山艸舟舟
紅志賀峰紅子堂峰

越佐旭東久窪旭窪窪大吾旭東須旭
知川筆洋礼川筆川川野桑筆洋崎筆
見

審査 大津山越久多須久久越吾山窪川北
野田知礼ノ南礼知桑田見郷

大野美賀
岡村玉水
岩谷紅葉
浜崎洋堂
松浦明子
下元玉泉
広田秋桜
明石美桂
田貴志子
今井真理
中沢里花
伊吹悠道
濱田千舟
小野山美喜
利谷喜代子

萩野羽村 林 緑翠 吉田深美
高橋芳雲 横山桂華 山西春草 崩田碧雲
森光春雲 芝田春翠 中里園 岡田雄山
大石千施 今橋伯也 高橋朱鳥

旭津須野鷹須窪佐仁高明佐旭須窪久窪
筆野南市ノ南川川淀知石川筆崎川札川
巣川

安芸室戸川淀川知川淀川佐仁窪川知川淀川北筆川知川窪越窪佐仁窪川

津野恵泉 坂本絢子
高橋伸水 武政幽雅
橋本祝子 戸田孝北
大平圭子 岩村祥
鎌倉春葉 西森啓助
山村脇佳月 村昭生
松本世津 村星子
楠目実子 浜恵子
濱田順子

岩崎竹山
亀井司郎
大崎紫陽
丸田宏子
中城康華
藤原朱鳳
井口花道
西村由香
岡林翠
笠原多嘉
山川百合
岡村妙慧
吉永光翠

須崎多ノ郷 松本綱 稲田屋廣人 小笠原広人
南国仁淀川 山本屋 藤田裕美
窪川横田ひとみ 大原紀美子 品原律子
仁淀川大原紀美子 品原律子
仁淀川吉村田啓子 井上久美子
仁淀川村田啓子 井上久美子
中公前田伸介 渡部由紀子
東洋藤沢松島利重

★ 初段
森澤美佑貴 池川千晶
林隆光 濱田幸子
杉本美代 香波介南
旭筆國南

大井淳
吉永美知
中澤英子
久保地初恵
鈴木輝代
山崎隆志
旭筆筆陣
山田旭筆
越知筆見
大野旭筆
高橋園江

二九

審査
野島
桂山

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

小学部

小学部		毛筆六年		★二段	
審查	西山 極山	多ノ郷 橋田 響	★初段	多ノ郷 橋田 韵	★五段
★九段	潮見台 多ノ郷 小松論実	越知 池川 西森智弘	★四段	長岡 江ノ口岡村 池川 須崎	一ツ橋○武内心桜
★八段	夜須 多ノ郷 白石 葵	越知 墓田心結	★三級	二官有佳子 芙茉莉 谷 愛莉	新規
★七段	夜須 新莊 鍋島祐里花 渡邊紗己	馬路 ○久保優菜	★三級	若枝那瑠 福永穂子 波介	塩見維那
★六段	上分 上分 青木美那海 西村柚季 朝比奈美空	審査 大八木洋女	★二段	長岡内田泰平 森岡太陽	西田紗菜
★四段	大篠 須崎 一つ橋川崎陽菜穂 湯浅桜那乃 梅原栞広	須南 多ノ郷 浦ノ内 前田真音	★初段	須崎 長岡 波介	永尾紗庵
久重 南 一つ橋 安江はな	竹内雄星 楠瀬太陽	吾桑 松浦由奈	★六段	浜渦愛夏	公文琉心
小笠原伊織			★七段		★八級
毛筆五年		毛筆四年		毛筆三年	
★九段	須南 多ノ郷 浦ノ内 前田真音	池川 池川 須崎	★三級	戸波 池川 長岡	★二段
★七段	須崎 一つ橋 片岡さと 大田翔夢	杉本咲優	★二段	藤原乙羽 藤原豊	塩見維那
★六段	上分 上分 くば田愛生 大田翔夢	審査 森田千春	★六段	西田紗菜	西田紗菜
弘 押岡岳登 植村晴陽	刈谷天海 田辺楓	須崎 長岡	★五段	永尾紗庵	永尾紗庵
多ノ郷○今橋 蕁	吾桑 ○高橋咲翔	岡豊 長岡	★四段	須崎 長岡	須崎
★三級		森田千春	★三級	鶴井創太	鶴井創太
甲浦	須崎 上分 谷口彩心	須崎 長岡	★三級	岡崎結愛	岡崎結愛
★三段	西森美陽	森田千春	★二段	浦ノ内 長岡	浦ノ内
川田聖剣		須崎 長岡	★二段	宮地輝翔	宮地輝翔
毛筆二年		もうひつ二年		毛筆一年	
★四段	別府 八級編入 藤原杏美	越知 ○片岡絢女	★三級	馬路 ○上利綺沙	★二級
★三段	須崎 多ノ郷 毛利秀門	佃 柚汰	★二段	須崎 長岡	初月 ○川渕結衣
大田統誠	島田いつき 渡部一翔	須崎 一つ橋	★二段	二宮嘉奈子 池畠基陽	一ツ橋○片岡あい
池川 藤沢	うらど 島田いつき	須崎 上分 森岡快晴	★二段	朝比奈らむ	一ツ橋○中澤愛加
須崎 谷口おと	須崎 上分 小松のぞみ	須崎 須崎	★二段	佐竹 江月	佐竹 江月
須崎 谷口おと	須崎 上分 前田來音	須崎 須崎	★二段	梅原由香子	梅原由香子
須崎 谷口おと	須崎 上分 小松のぞみ	須崎 須崎	★二段	大城リサ	大城リサ
須崎 谷口おと	須崎 上分 前田來音	須崎 須崎	★二段	松田なみ	松田なみ
須崎 谷口おと	須崎 上分 小松のぞみ	須崎 須崎	★二段	梅原由香子	梅原由香子

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。
臨書は出典名を記入のこと。

★初段	長岡 多ノ郷 藤川一花	宮脇改太 安田悠成	一ツ橋 玉置はる
★新規	長岡豊 長岡北村さくらこ	西宮咲希	九級編入
★一級	岡豊 島村暉空	藤崎杜真	吾桑 梅原あおま
★三級	長岡 竹内ひなこ	○玉城遙音 江頭咲良	審査 岡本 空仁
★四級	池川 藤崎杜真	上分田なべり音 一分やなぎ本きい	もうひつ一年
★五級	秦 岡豊 ○西田圭吾	須崎○岡崎あいり	★初段
★六級	江ノ口 ○宮崎香羽 川上詩乃	須崎○西田圭吾	長岡 小高坂 川西こうすけ
★九級	須崎○岡崎あいり	須崎○西田圭吾	森田実咲
★七級	馬路 ○小松太緒	須崎○西村あさひ	審査 岡本 空仁
★六級	夜須 ○西村あさひ	佐古 田村けんご	もうひつ ようち・ほいく
★五級	浦ノ内 ○正木芳尚	浦ノ内 ○領木あみ	審査 岡本 空仁
★九段	上須崎 舟入内 多ノ郷 越知 潮見台	須崎○西村あさひ 須崎○毛利こはな	須崎○谷脇あいら
★九段	大篠 西野田心結 楠瀬太陽 梅谷森 西野心海 原菜鈴 愛海 広來	西村柚実 堅田心結 太陽 心海 楠瀬 西野 梅谷 森	十級編入 松坂みおね 高橋そら
★八段	硬筆六年	審査 森本 寿山	須崎○谷脇あいら
★九段	浦ノ内 中平暖乃 浜田なみ 鍋島祐里花 黄之瀬屈 美島望花 葵	浦ノ内 朝比奈美空 渡邊紗己 美島望花 葵	特待生
★七段	浦ノ内 中平暖乃 浜田なみ 鍋島祐里花 黄之瀬屈 美島望花 葵	浦ノ内 夜須 浦ノ内 夜須 浦ノ内 夜須 浦ノ内 夜須	硬筆六年
★六段	越知 久重 小笠原恋菜 野瀬智妃路	越知 久重 小笠原恋菜 野瀬智妃路	★八段
★五段	浦ノ内 岡本拓真	浦ノ内 岡本拓真	越知 一ツ橋 若枝那瑠 安江はな 竹内雄星 那海翔
★四段	長岡 岡田夏芽 小笠原伊織桜	長岡 岡田夏芽 小笠原伊織桜	上分 青木美那 奥野海翔 竹内雄星 那海翔

第65回硬筆成績

○印は昇級

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店



高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

令和4年度 事業計画予定表

月 日	時 間	行 事	場 所	室
1 月		新年試筆(2月号)		
1 月23日(日)	9:30~12:00	1月審査会	高知会館	あだち・桃山
2 月27日(日)	9:30~12:00	2月審査会	高知城ホール	やまもも
3 月 6日(日)	9:30~15:00	春季昇段級試験 準備・試験 慰労会	高知城ホール	やまもものじぎく
3 月27日(日)	9:30~12:00 審査会終了後	3月審査会 総務会	高知会館	あだち・桃山
4 月24日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	4月審査会 龍跳展下見会	高知城ホール	やまもも やまもも
5 月22日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	5月審査会 龍跳展下見会	高知会館	あだち・桃山
6 月26日(日)	9:30~12:00	6月審査会	高知城ホール	やまもも
7 月 4 日(月)	9:00~12:00	龍跳展搬入	高知県美術館	県民ギャラリー
7月5日(火)~10日(日) 最終日15:00まで	9:30~17:00 15:00~	第65回龍跳展 搬出	高知県美術館	県民ギャラリー
7 月10日(日)	16:00~	龍跳展慰労会	高知城ホール	やまもも
7 月24日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	7月審査会 県展出品作勉強会	高知城ホール	やまもも
8 月21日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	8月審査会 県展出品作勉強会	高知城ホール	やまもも
9 月 4 日(日)	9:30~15:00	秋季昇段級試験 準備・試験	高知城ホール	やまもも
9 月25日(日)	9:30~12:00	9月審査会	高知城ホール	やまもも
10月23日(日)	9:30~12:00	10月審査会	高知城ホール	やまもも
11月27日(日)	9:30~12:00	11月審査会	高知城ホール	やまもも
12月25日(日)	13:00~15:00 15:00~17:00	12月審査会 新年試筆作品提出 忘年会	高知城ホール	やまもも
				やまもも

(出品票)

のり代

4年

1月

毛筆

校名

保学年

年

氏名

名

段級

のり代

4年

1月

硬筆

校名

氏名

段級

新年試筆作品について

出来るだけ多くの方の出品をお願いします。

記

締切日 12月26日（日）（審査日当日受付）

出品料 5,000円

※審査会に出席されない場合は、どなたかに預けて下さい。

※一月（一月号）の送本は一月十四日（金）を予定しています。

※新年試筆作品には左の出品票を作品左下に貼って下さい。

◎掲載後、作品をお返ししますが、後に表装される方は、

貼り付けずにクリップでとめておいて下さい。

◎姓号と釈文は作品横に載せますので、左の出品票は楷書で

正しく書いて下さい。

◎紙はなるべく白を使って下さい。（文字がはつきり写ります）

試筆作品出品票	
整理No.	
釈文	姓号
(多字数は二十文字まで)	

お知らせ

※第75回県展 入選者

追加発表

松本 絵

(確認が不十分でした。
お詫びします。)

● 第67回安芸市展

無鑑査 大黒
" " 福原下
" " 奥山紫
" " 西堂暁
" " 春皓仙
" " 草月香雲雲

● 第59回中土佐総合文化展

教育長賞 奥山
社会教育委員長賞 下元
玉泉 春皓
元玉 春皓
泉草 月

● 第58回高南台地総合美術展

横笠今中堀熊森
田原井城内谷本
仁多真康仁晚瓊
美嘉理華峰象象

新奨褒特無鑑査
人励" " 鑑査
賞賞状選査

令和四年三月号からの規定課題

春夜喜雨

杜甫

大意

好雨知時節

好雨時節を知り

當春乃發生

春に当たりて乃ち發生す

隨風潛入夜

風に隨い潛かに夜に入り

潤物細無聲

物を潤して細やかにして声無し

野徑雲俱黑

野徑雲は俱に黒く

江船火獨明

江船火は獨り明らかなり

曉看紅濕處

曉に紅の湿れる処を看れば

花重錦官城

花は錦官城に重からん

よい雨は降るべき時を知つていて
春になれば早速降り始める

雨は風の後から夜半にひそかにやつてきて
春の小道には黒い雲が立ちこめ

細やかに音もなく万物を潤す

夜が明けて、しつとりと紅色になつてゐる
ところを見たが

あれは錦官城に花が重たげに垂れていふ姿だつたら

条幅参考、あとがき当番表（決定）

令和4・5年

提出期日	当 番	あとがき当番
令和4年1月審査会日	塚地	隅田(会計)
令和4年2月審査会日	野島	松下
令和4年3月審査会日	岡崎	野中
令和4年4月審査会日	森光	堅田
令和4年5月審査会日	廣末	市原
令和4年6月審査会日	出間	岡林
令和4年7月審査会日	中平	岡本(志)
令和4年8月審査会日	大黒	佐々木
令和4年9月審査会日	梅川	森本(寿)
令和4年10月審査会日	福原	大八木
令和4年11月審査会日	森本(瓊)	石川
令和4年12月審査会日		塚地
令和5年1月審査会日	塚地	弘田(賀)
令和5年2月審査会日	野島	武内
令和5年3月審査会日	岡崎	岩河
令和5年4月審査会日	前田	大崎(花)
令和5年5月審査会日	廣末	大原
令和5年6月審査会日	出間	山下
令和5年7月審査会日	中平	河村
令和5年8月審査会日	大黒	小川
令和5年9月審査会日	梅川	深瀬
令和5年10月審査会日	福原	西山
令和5年11月審査会日	森本(瓊)	奥堂
令和5年12月審査会日		隅田(会計)
補 欠		江西

連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三三一一

隅田亘心

振替口座番号

01690-31925

電話 (0八八九) 三五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (0八八八) 八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話 (0八八七) 一九一-二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛治町六一八

江澄翠

電話 (0八八九) 四一一-三〇六七番

・送本についての連絡先
(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (0八八九) 四七一〇七二一一番

あとがき

光陰矢の如しとか、月日の経つのは本当に早い今年も残りわずかとなりました。だんだん世の流れに取り残されているようなこの頃です。

さて、時は少しだけ遡りますが、7月の龍跳展で印象に残った作品があります。それは川崎元会長の寿山先生への書き作品「一二三四五六七累積々々又累積」です、作品の良さは筆舌に尽くし難いので控えておきます。確かに、書を始めたころには早く上達したい何か方法はないのか?そんなことばかり考えていました。しかし、結局は書の実力向上には、如何に練習を積み重ねるかに尽きるのではないかと考えるようになりました。ところが練習するうちに大きな壁に当たり疑問が湧きそれを克服するために研究する、こうしたことを繰り返す修練がなければ上達はできないのだと、納得のいく作品でした。

そして、本号では春季昇段試験の要綱が発表されています。法帖と手本に見入り悔いの残らないよう書き込んで、多くの方が受験されるよう願っています。

ところで、今年6月の総務会において平成21年から龍跳を和やかにリードしてこられた廣末会長が退任されました。12年間の長きにわたり本当に世話をしました。また、福原新会長は、遠距離(東洋町)というハンディがありご苦労をおかけしますが、それぞれが役割分担をして負担の軽減に努めますのでよろしくお願ひいたします。

新体制となり氣分も新たに、皆様が健やかで新年が迎えられますよう祈念いたします。

11月26日

— 桂龍 —

月例競書課題

保育	年	年	年	年	年	小学六年	年	年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部別	締切日
													任意	一月二十日締切
こ	一年	二年	三年	四年	五年	文化交流	冬期休暇	人類の幸福	任意	無爲在岐路	任意	任意	二月二十日締切	
ま		たつ	げんき	うめの花	初日の出									
そ	だる	ま	川の小石	春を待つ	公明正大	少年時代	給食当番	日常の話題	任意	兒女共沾巾	任意	任意	二月二十日締切	
ら														

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は元料不要)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

$$\begin{aligned} \text{Ⓐ} &+ \text{Ⓐ} = 290 \text{円} \times \text{月数} \\ \text{Ⓑ} &+ \text{Ⓑ} = 360 \text{円} \times " \\ \text{Ⓒ} &\times 3 = 630 \text{円} \times " \end{aligned}$$

◎会費と龍跳誌元料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 Ⓛ 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 Ⓜ 振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(〇冊)より〇月号まで〇ヶ月分
誌代 ○円 / 元料 ○円

と記入のこと。

編集室	福原暁雲(本部)	江澄翠	野島桂山	中平美峰	発行人	発行所	印刷所	電話	電話	須崎市東古市町二一一六	(有) 笹岡印刷所	電話
福原暁雲	江澄翠	野島桂山	中平美峰	福原暁雲	江澄翠	須崎市東古市町二一一六	(有) 笹岡印刷所	二九一二六五〇	二九一二六五〇	二九一二六五〇	二九一二六五〇	(六八七)
福原暁雲	江澄翠	野島桂山	中平美峰	福原暁雲	江澄翠	須崎市東古市町二一一六	(有) 笹岡印刷所	二九一二六五〇	二九一二六五〇	二九一二六五〇	二九一二六五〇	(六八七)

月例作品送り先
〒781-0081
南国市山四九〇

電話 (088) 865-18857
西山極山 宛